

希望の鐘の音



《大槌病院基本理念》

2017・秋(創刊)号

患者さんのために 地域のために

良質な医療の提供と地域医療の活性化を目指します



～ 大槌病院広報誌『希望の鐘の音』発刊によせて ～

院長 坂下 伸夫



当院は昨年5月、この地に再建以来、地域に密着した「かかりつけ」病院としての一般診療を行い、平日の日中のみとはなっておりますが初期救急への対応、地域包括ケアの一助となるべく、各種保健活動、福祉施設との連携などを主な業務としております。

開院から1年が経過し、当院も地域の一員としてあと1歩踏み出せないかと考え、身近に感じていただき気軽にご利用、ご相談いただけるよう、当院の紹介やちょっとためになる情報などをお伝えする広報誌を発行することといたしました。

タイトルの『希望の鐘の音』は、当院のシンボルでもある県立26病院の仲間たちから病院再建の記念、そして今後への「応援」として寄贈いただいたオルゴールの音色にちなみ、「当院から発信する小さな情報が、開業医の先生方や保健、福祉に携わるすべてのみなさま方と美しいハーモニーを奏で、地域に暮らす方々に、希望や安心を届けられたら」との思いから名づけました。なにぶん素人が一から手がけますので、お見苦しい点もあろうかとは思いますが、是非ご覧いただけますと幸いに存じます。

今後とも当院の基本理念に則り、地域を支える医療機関として気軽に利用していただける病院づくりを進めるべく、職員一同努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

☆☆☆入院について☆☆☆

当院は釜石保健医療圏の地域病院として、基幹病院である県立釜石病院などと連携しながら地域の入院機能を担っています。

◎寝たきりの患者さんもより快適に入院生活を送っていただくことができるよう、毎週特浴槽による入浴を行っております。

◎他医療機関からの入院や転院のご相談、ご家族とご相談しながら福祉施設等への退院支援、在宅退院に向けた環境を整える看護師を配置しております。

◎在宅で過ごされている患者さんで、医療処置が必要な方の短期入院に対応しております。詳しくは各外来または地域医療福祉連携室にお問い合わせください。

退院調整看護師
(病棟看護師長)

山崎 春美



《ひとこと》

ご家族・患者さんのご意向に沿えるよう、また、良い地域づくりのお手伝いができるよう努めます。

また、私が不在の場合も病棟スタッフ全員で退院の支援に関わっておりますのでいつでもお声掛けください。

☆☆☆外来診療のご案内☆☆☆



	診療科 (受付時間)	月	火	水	木	金
午前	内科	岩田 黒田 宮村 佐々木	岩田 黒田 宮村 佐々木 高橋(第1/3/5)	岩田 黒田 宮村	岩田 黒田 宮村 佐々木	岩田 黒田 宮村 佐々木
	外科 (~11:00)	坂下	坂下	坂下 (~10:30)	坂下	
	整形外科 (~10:00)	室岡(隔週)				
	皮膚科 (~10:00)	堀内(隔週)				
	眼科 (~10:30)					岩手医大
午後	整形外科	沼田(月1) 武田(月1)				

※緑文字は診療
応援の医師です

※受付時間
午前：8時30分～11時30分
午後：13時～16時

※診療予約制となっております。予約外の方は診療順が前後する場合がございます。
 ※当院は岩手県立中部病院及び岩手県立釜石病院の臨床研修協力施設となっております。臨床研修医が外来診療を担当する場合がございます。
 ※各日の整形外科の担当医はお問い合わせください。



平成29年度第5回 岩手県立大槌病院 糖尿病教室

～病気の発症と増悪を防ごう～



<今回の内容>

1. ～糖尿病と目・歯周病～
「何か飛んでいるように見えます。口が臭いと言われます。」
内科医師：黒田継久
2. 糖尿病とのつきあい方
看護師：澤田・鈴木

★日 時：平成29年10月12日(木)
8時45分～9時15分

★場 所：岩手県立大槌病院 3階 デイルーム(食堂)

ご参加いただいた方に、
食品等のサンプルを
プレゼント!



どなたでもご参加いただけます。ご希望の方は地域医療福祉連携室
までお問い合わせください。 TEL : 0193-42-2121

☆☆☆常勤医師の紹介☆☆☆



氏名 坂下 伸夫 さかした のぶお
職名 院長（兼外科長兼釜石病院副院長）
専門 消化器外科・一般外科
所属学会 日本消化器外科学会認定医、日本外科学会専門医、日本医師会認定健康スポーツ医、日本外科学会指導医、日本がん治療認定医機構暫定教育医
ひとこと 大きい手術はできませんが、外科一般のことについてはご相談ください。



氏名 岩田 千尋 いわた ちひろ
職名 理事
専門 消化器内科・一般内科
所属学会 日本内科学会・日本消化器病学会
ひとこと 新大槌病院は開院して1年半になりますが、今後も釜石・大槌地区の各医療機関、施設、行政等と連携し急性期患者の紹介・急性期治療後の患者の受入れ、慢性期患者の治療等に力を注ぎ、地域病院としての役割を果たしていきたいと思っております。



氏名 黒田 継久 くろだ つぐひさ
職名 副院長（兼診療支援室長兼地域医療福祉連携室長）
専門 糖尿病・一般内科
所属学会 日本内科学会・日本糖尿病学会・日本脂質栄養学会
ひとこと 糖尿病と脂質のことならおまかせください。毎月糖尿病教室も実施しています。地域に出向いての糖尿病予防の講演なども承りますのでご相談ください。



氏名 宮村 通典 みやむら みちのり
職名 参与
専門 心療内科・一般内科
ひとこと まだ震災のPTSDがあるようです。老老介護、独居老人の方も増加しており、病診、介護施設、社協さん等々との連携が大切になってきていると感じております。



氏名 佐々木 健治 ささき けんじ
職名 内科長（医局長）
専門 消化器内科・一般内科
所属学会 日本内科学会・日本消化器病学会・日本消化器内視鏡学会
ひとこと 患者さんの思いに沿った診療を心がけています。上部・下部消化管内視鏡検査も行っていますので、対象の患者さんがいらっしゃいましたらご紹介ください。

☆☆☆簡易型PSG装置を整備しました☆☆☆

◆当院では「簡易型PSG装置」をこの9月に整備いたしました。

これは睡眠呼吸障害の検査に使用される機器で、一般的に知られている「睡眠時無呼吸症候群」の診断に欠かせない機器となります。日中の眠気や睡眠中の大きなイビキを指摘される方などは、睡眠時無呼吸症候群の可能性が考えられます。

検査は1泊入院していただき、顔、体の必要な部位にテープで電極を貼り付け、実際に一晩眠ることで、呼吸、SpO₂、脈拍、気管音などを記録し睡眠の状態について調べ、結果を臨床検査技師が解析し患者さんにもわかりやすくレポートを作成します。

入院費用はおよそ2万4千円（注：3割負担の場合）で、当日午後入院、翌日午前には退院できますので、ご希望の患者さんがいらっしゃいましたらぜひご紹介ください。検査結果を添えて逆紹介させていただきます。



☆☆☆当院施設のご紹介☆☆☆



☆ 全身用X線CT撮影装置（16列）

当院では信頼される質の高い医療サービスを提供するため、マルチスライスCTと呼ばれる多列検出器を搭載したCT装置を整備しております。

この装置は比較的規模の大きな病院のCT装置とほぼ同レベルの機能を有し、たとえば50cm幅の撮影時間は、

シングルスライスCT

・・・約 50秒

マルチスライスCT

・・・約 11秒

と、息止めの短い撮影や被ばくの少ない検査が可能となり、特に高齢者の負担が大きく軽減されます。



☆☆☆メディカルショートステイをご利用ください☆☆☆

◆メディカルショートステイ（MST）とは？

中心静脈栄養・胃瘻挿入・痰の吸引等医療処置が必要とされる患者さんは、一般的なショートステイ等のサービスの利用が難しく、自宅中心の介護になることが多いのが現状で、また、移動も難しく、病院の受診等も大変かと思えます。

当院では患者さんの健康状態の確認や処置、また、介護されている方の休息などを目的に、患者さんの状態にあわせ期間を1週間から2週間とした短期入院に対応しております。



◆入院から退院までの流れ

- ・ 外来で医師の診察を受けていただき、MST入院が決定します。入院が決まりましたらご家族の方へ入院準備の説明・書類等をお渡しいたします。
- ・ 入院の日程については、病院担当者からご連絡いたします。
- ・ 入院当日は外来受付していただき、医師の診察と検査があります。診察・検査が終わり次第病棟へご案内いたします。
- ・ 入院中はできる限りご自宅と同じようにお過ごしいただけるよう環境を整えております。
- ・ 退院日には主治医より入院中に行った処置・検査について説明をいたします。

当院に受診歴がない方にも対応しております。まずは当院地域医療福祉連携室までご相談ください。

食べる喜びをいつまでも！

～ こんにちは 栄養管理科です ～

加齢とともに食べ物を噛んだり、飲み込む機能が低下してきます。噛むことが不完全では、食べ物に含まれる大切な栄養素も十分に体に取り入れることができず、低栄養（栄養が足りない）状態となります。

噛む力、飲み込む力に応じて食事をひと工夫し、また、市販の食品などをうまく利用しながら、いつまでもおいしく楽しい食事にしましょう。

★噛む、飲み込む力の低下を示すサインのチェック！！★

以下のような状態があったら、噛む、飲み込みなど食べる機能の低下が考えられます。

- ・食事中にむせる、食後に咳がでる
- ・口の中やのどに食べ物が残りやすい
- ・食べ物が噛みにくい
- ・やせてきた、体重が減った
- ・痰がでやすい
- ・微熱がでやすい、肺炎になったことがある

★調理のひと工夫★

やわらかくする
調理の方法

【蒸す、煮込む、つぶす、する】

家族と同じメニューでも、素材の形状を変えたりやわらかく調理すれば飲み込みやすい。やわらかくなりにくいもの→蒲鉾・こんにゃく・ハム等



飲み込みやすく
する方法

【油脂やつなぎでまとめる】

マヨネーズやドレッシングなどの油性のソースで食材をまとめる。食べ物が滑らかになる。

【トロミをつける】

食材にあん風のとろみをつけて、口の中で食材がばらけるのを防ぐ。また、お茶などサラサラした液体は、トロミを付けて、むせを防ぐ。



★トロミ調整食とは？ 使い方★

- ・食品の温度に関係なく、簡単にトロミづけができます。
- ・薬王堂やツルハなどのドラッグストアで購入できます。
- ・使い方



- ① 飲み物や液状の食品にトロミ調整食品を入れてすぐにかき混ぜる。
- ② 溶かしてから約2～3分トロミが安定するまで待つ。
- ③ トロミの状態や温度を確認する。

*トロミ剤の種類によって必要量がちがいます。商品のパッケージなどを確認の上、ご使用ください。

*食べる時の姿勢も大切です。やや前かがみになると飲み込みやすくなります。

★これからも、栄養士は皆様の食事をサポートしていきます。ご相談ください。

☆☆☆ルーDE部門紹介☆☆☆ ～薬剤科～



当院の病棟には薬剤師が常駐しています！

薬剤科長 褒岩 明子

当院には2名の薬剤師が在籍していますが、そのうち1名は常時病棟で入院患者さんのお薬に関する業務を行っています。

病棟スタッフステーションの一角、薬剤師用のデスクで入院時に持参されたお薬の内容と数量を確認し、飲み合わせや副作用、自宅での管理状況などを医師等スタッフへ情報提供を行います。当院に入院される患者さんは高齢者・一人暮らしの方も多く、持参されるお薬を見て服薬状況に不安を覚えることは少なくありません。



【病棟で持参薬の鑑別中！】

患者さんを支えるチームの一員として、褥瘡・栄養・感染・糖尿病・安全などのチームにも所属し、回診・カンファレンスなどでお薬に係る専門的見地からのアドバイスなどを行っているほか、2名とも日本糖尿病療養指導士の資格を有しておりますので、お薬のことはもちろん、療養指導にも取り組んでいます。

オレンジのラインの白衣が薬剤師のしるしです。ぜひお気軽にお声掛けください。

このような方々に、安全に正しく服薬できるようサポートするとともに、退院時にはご本人はもとより、ご家族へお薬の説明・情報提供をいたしますし、入院中の薬物治療の内容についてお薬手帳へ記載し、施設や転院先、保険薬局へ提示していただくよう説明しています。

薬剤師が病棟に常駐することで、医師や看護師からの相談にも迅速に対応できることもメリットのひとつです。

広げよう！！ OKはまゆりネット

8月1日より、病院、医科・歯科診療所、調剤薬局での「OKはまゆりネットカード」の新規発行が可能になりました。これにより、はまゆりネットの加入者が増え、歯科診療や服薬指導等業務支援につながればと期待しています。キーコードの発行伝達までに時間を要したり、依頼に添えないこともあります。少しずつ改善し有効に活用できるよう努めてまいりますのでご理解・ご協力をお願いいたします。

県立釜石病院 地域医療福祉連携室



☆☆☆オルゴールを寄贈していただきました☆☆☆

この4月に新病院移転の記念として、岩手県立26病院の職員による団体『わかくさりぼんプロジェクト』から大型のディスクオルゴールを寄贈していただきました。

わかくさりぼんプロジェクトは、東日本大震災津波により大きな被害を受けた県立病院ですが、全職員が一致団結してこの苦難を乗り越えようと、震災後間もなく、再生と復活の意味を込めた若草色のリボンを身につけ診療に従事していたことを契機として立ち上がり、岩手県立26病院の力をひとつにし、被災した県立病院の復興を支援するため、「わかくさりぼん」をあしらったポロシャツ（ご覧になったことありますよね）を販売した利益金により被災した地域の県立病院に対し物品を寄贈するなど、被災地の住民や被災病院の職員の心に寄り添った活動により、県立病院職員の被災地に対する想いの伝達や支援の輪を広げている団体です。

オルゴールは2階受付待合ホールに設置し、平日の10時・12時・15時の3回、澄んだ音色で患者さんや職員を癒してくれています。
流れる曲はディスクの交換により13曲、当院の「音楽プロデューサー」がその日の気分にあわせてランダムに選曲しています。

コンサートなども開きたいと考えていますが、お近くにお越しの際などにはお気軽に聞きにいらしてください。

~Together As ONE~
岩手県立病院



◆オルゴール曲目リスト

春（ビヴァルディ「四季」より）
夏の思い出（江間章子）
里の秋（海沼實）
聖夜（讃美歌）
カノン（パッヘルベル）
ジュピター（ホルスト「惑星」より）
花は咲く（NHK復興応援ソング）
いとしのエリー（桑田佳祐）
セイリング（ロッドスチュワート）
ありがとう（いきものがかり）
らいおんハート（SMAP）
君を乗せて（天空の城ラピュタより）
故郷（臼澤みさきちゃん）



☆☆☆ 編集後記 ☆☆☆

大槌病院広報誌「希望の鐘の音」第1号をなんとか発行することができました。

次号から順次当院の各部門や取組み、ちょっとためになる情報など、細く、長く、お伝えできればと考えています。

地域の一員として、患者さんのため、地域のため、少しでもお役にたきたい今日この頃です。

番号 1号
発行日 平成29年10月1日
発行 岩手県立大槌病院
地域医療福祉連携室（千葉）
住所 大槌町小槌第23地割字寺野1-1
電話 0193-42-2121
FAX 0193-42-3148
E-Mail EA1016@pref.iwate.jp



岩手県立大槌病院

岩手県上閉伊郡大槌町小槌第23地割字寺野1番地1

TEL 0193-42-2121

FAX 0193-42-3148